

令和8年度人権感覚を豊かにするための研修（職業倫理）

誰一人取り残さない社会の 実現に向けた福祉専門職の 役割

～ソーシャルインクルージョンの過去と現在、そして未来～

配信期間

2027.

1.8 (金) 10:00 → 2.26 (金) 17:00

オンデマンド
研修

本研修では、“異端の官僚”とも称され、行政官時代から一貫して「社会的に孤立しやすい人への支援」に取り組んでこられた炭谷茂氏を講師にお迎えします。

炭谷氏は2000年の「社会福祉基礎構造改革」に取り組むかたわら、同時期に「社会的排除」の概念や「ソーシャルインクルージョン」の理念を日本の社会福祉政策に位置づけた「社会的な援護を要する人々に対する社会福祉のあり方に関する検討会（報告書）」の作成に携わり、また「ホームレス自立支援法」の制定にも尽力されるなど、今日の「地域共生社会」の理念につながる制度づくりを牽引してこられました。

今回、長年にわたり実践・推進されてきたソーシャルインクルージョンの理念や取り組み、その背景にある考え方を学ぶことを通して、参加者一人ひとりが日々の実践を振り返り、「誰一人取り残さず、ともに生きる地域社会」を実現するために必要な視点や支援のあり方について考える機会とします。

開催方法

動画配信型オンデマンド研修

（視聴時間：約60分）

対 象

福祉施設(全分野)の施設長・管理職員等

※個人単位でお申込みください。

受講料

お一人につき 2,000円（税込）

内 容

2000年「社会福祉基礎構造改革」や「社会的な援護を要する人々に対する社会福祉のあり方に関する検討会（報告書）」が真に目指したもの。「ソーシャルインクルージョン」が求められる背景や具体化するために必要なこと。「中間組織」や福祉専門職に期待すること等。

※ご講演に関する詳細な資料の配付はございません。

お話のレジュメ（要点を列記したもの）を事前に配付させていただきます。

※オンデマンド配信のお申込みされるにあたっては、事前に諸注意をご確認ください。[CLICK HERE](#)

講 師

社会福祉法人 恩賜 済生会
理事長 財団

炭谷 茂 氏



大学を卒業後に厚生省（現・厚生労働省）入省。社会福祉・医療行政を中心に携わり、社会・援護局長などを歴任。環境省では官房長などを経て環境事務次官に就任。2006年に退任後、2008年から済生会理事長に就任し現職。ソーシャルファームジャパン 理事長、日本障害者リハビリテーション協会 会長、環境福祉学会 会長。

お申込み



専用の入力フォームより
お申込みください。

申し込み期限

2026. 12. 4 (金)



※申込締切後、1週間以内に受講決定の通知をメール送信いたします。

【お問い合わせ】

大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター 研修グループ

TEL：06-6762-9035（9:00～17:00）<https://www.osakafusyakyo.or.jp/kensyu-c/>